



さんびょう6

三錨VI

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 14

平成29年 10月 3日

絶好の季節

「〇〇の秋」とよく言いますが、勉強・スポーツ・読書・芸術・行楽・食欲・・・何をするにも、今が絶好の季節だと感じます。10月も行事や活動が目白押しです。運動会もそうでしたが、一つひとつ乗り越える中で、子ども達の成長を目指していきたいと思っています。



◇富洲原地区敬老会



児童代表あいさつ

9月24日（日）午前9時より、本校体育館にて「富洲原地区敬老会」が行われました。たくさんのお年寄りの皆さんが参加をされ、保育・幼稚園児、中学校音楽部、北部児童館ソーランクラブ、そしてはるばる白子高校のブラスバンド部による出し物が繰り広げられました。本校からも、5名の児童会役員が参加をし、冒頭に代表があいさつをした後で、4年生から6年生の児童が書いた、お年寄りの皆さんへのお手紙をお渡ししました。あいさつの中では、日頃、パトロールなどでお世話になっているお礼や、昨年140周年を迎え、次の10年に向けてさらに

良い学校を作るために頑張るという決意を力強く語っていました。お手紙を差し上げると、みなさんさっそく広げて読んで下さっていました。学校の子ども宛てに、何通かお返事も届きました。喜んでいただけたようで良かったです。

どの出し物も、それぞれ趣向を凝らし、思いがこもったものでした。中でも、白子高校ブラスバンド部の演奏は、圧巻でした。時代劇のテーマ曲に合わせて、銭形平治や水戸黄門がステージに現れたり、演歌や童謡をお年寄りと一緒に口ずさんだり、正にこの日のために練り練り、磨きに磨いた演奏が次から次へと続き、あっという間の夢のような40分間でした。

本当に、地域のみなさんで長寿をお祝いするという、気持ちのこもった敬老会だったと思います。



お手紙をお渡しする児童会役員

◇創立141周年記念式典



9月29日（金）10時より、体育館にて「富洲原小学校創立141周年記念式典」がありました。40名近いご来賓と、参加を希望された保護者の方をお招きし、6年生児童・職員・PTA役員が参加をして行われました。昨年度は、140周年という大きな節目でしたが、本年度は新たな10年への第一歩となる式典となりました。校長からは、創立の由来や式典の意義、地域や卒業生の皆さんへのお礼、そして6年生へのメッセージなどをお話しました。その後、藤田連合自治会長、伊藤PTA会長から、温かいお祝いのお言葉をいただきました。続いて、記念品の目録贈呈。「三錨58年会」の大平会長からは、

例年のように寄贈品（パソコン、書画カメラ、大型

いただきました。それぞれ大切に活用させていただきます。

その後は、6年生児童の発表。まず、山田今次作「雨」と、井上ひさし作「いきいき生きる」の詩の群読を行いました。「雨」は、雨が降り出し、だんだん激しくなって、最後降りやむ情景が目には浮かぶように、60人でうまく表現していました。「いきいき生きる」は、東日本大震災後に作られたもので、釜石小学校の校歌にもなっているそうです。富洲原小学校の新しい歴史を、自分たちの手で築いていこうという、たくましさを感じられました。そして、「ふるさと」を合唱。途中で入るハンドベルが効果的でした。35年後に、またみんなこのふるさとの学校へ戻ってきてください。最後に、会場の全員で校歌を合唱。卒業生の方も多くみえたので、懐かしく口ずさんだ方も多かったのではないのでしょうか。

本日の式典を終え、改めて本校は、地域や保護者、そしてたくさんの卒業生の皆さんに、長く愛され支えられてきた学校であることを実感しました。ありがとうございました。



6年生の発表 「ふるさと」の合唱

◇第3回学校運営協議会

創立141周年記念式典の後、校長室にて第3回学校運営協議会（コミュニティスクール会議）が開催されました。テーマは大きく二つでした。

【全国学力・学習状況調査の結果について】

- ・スマホを使用している時間が、全国の平均に比べて長いという結果は気になる。
- ・読書の時間が減ったり、長い文章を書くのが苦手になったりといったことにつながるのでは。
- ・「地域行事へ参加する子は多いが、地域のために何をすべきか考える子が少ない」については、地域社会のことを考えるきっかけをつくっては。（大うんどうかいのボランティア活動など）
- ・小学生には、まずは参加してもらい、その中で徐々に貢献意識が芽生えていけばよいのではないかと。
- ・子どもは、見守り隊に見守っていただいているという自覚はあるが、少し過保護になっている面もあるのでは。

【創立141周年記念式典について】

- ・毎年、学校の創立記念を、みんなで祝えるのはすごいこと。
- ・6年生の詩の群読もすごく感激した。態度もすばらしかった。もう少し元気を出してもよかったが。
- ・せっくなので、5年生も一緒に参加できるとよかった。保護者の参加も、もう少しあるとよかった。
- ・運動会の後、短い期間で準備も大変だったと思う。学習指導要領も変わり、外国語や道徳などやることも増えることになり、ますます大変でしょうが、こんな形での式典なら継続していけそうだと感じた。

限られた時間でしたが、貴重なご意見をありがとうございました。



◇卒業式の服装について

本日、「卒業式における卒業生の服装について」の文書を、全保護者様宛に配布しました。全市的に、卒業式の服装が華美になる傾向があるため、市教育委員会からも、保護者への理解と協力を得るよう指導があったため配布するものです。文書をよくお読みいただき、「最後の授業である」という趣旨のもと、それにふさわしい、また過度な負担とならない服装にご配慮をお願いします。なお、既に準備をされている方もみえると思います。服装について、学校として規定を設けるというものではなく、あくまでご理解とご協力をお願いしますとの趣旨ですので、よろしくお願いします。

なお、来年度以降のこともありますので、6年生だけでなく全保護者の方に配布をさせていただきました。